ふなばし
市議会だより
No. 222
年４回発行
平成27年（2015年）9月議会
発　行 船橋市議会
編　集 広報委員会
発行日 平成27年（2015年）11月15日
〒273-8501 船橋市湊町2-10-25
電話　047（436）3012

アンデルセン公園の紅葉／撮影者：吉野　克己　様

保育士の緊急確保に向けて、保育士宿舎借上げ補助などを含む平成27年度一般会計補正予算や、マイナンバーに関する条例を含む27議案を可決

平成27年第3回定例会は、8月25日から10月16日までの53日間の会期で開かれました。

今定例会では、市長から34議案、議員から12議案が提出され、プロバスケットボールチーム「千葉ジェッツ」のホームタウン化を契機に地域活性化を図るシティセールス推進費を含む平成27年度一般会計補正予算や、駐輪場の利用環境改善に向け、料金改定等を行う「船橋市自転車等駐車場条例」を含む27議案を可決しました。

また、平成26年度一般会計ほか9件の決算を認定しました。

— 目　次 —

議案の概要……P2
議案の議決結果、陳情の議決結果、会派の構成……P3
議案質疑……P4、5
各委員会の報告……P6、7
閉会中の委員会報告、市議会の傍聴に来てみませんか？……P8、9
一般質問……P10～15
小中学生議会見学会を開催しました、お知らせ……P16

議案の概要

今定例会に市長及び議員などが提出した議案の内容です。

平成27年度補正予算

○一般会計補正予算　【第1号】

補正額　4億1630万3千円の増額

○介護保険事業特別会計補正予算　【第2号】

補正額　5248万7千円の増額

改正する条例

○個人情報保護条例の一部を改正する条例　【第3号】

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の制定に伴い、特定個人情報の保護等に関し、所要の定め等をするもの。

○職員退職手当支給条例等の一部を改正する条例　【第4号】

「被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律」の施行に伴い、規定の整備を行うもの。

○市税条例の一部を改正する条例　【第5号】

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の制定に伴い、市税の申告書の記載事項等について、所要の改正を行うもの。

○夜間休日急病診療所条例の一部を改正する条例　【第6号】

夜間休日急病診療所を移転するについて、その位置を変更するとともに、休日の小児科に係る診療時間について、所要の改正を行うもの。

○保健センター条例等の一部を改正する条例　【第7号】

中央保健センター、保健所、地域活動支援センター及び中部地域包括支援センターを移転するについて、その位置の変更等をするもの。

○福祉会館条例の一部を改正する条例　【第8号】

さざんか特殊歯科診療所の設置に伴い、北部福祉会館の施設等について、所要の改正を行うもの。

○保育所条例の一部を改正する条例　【第9号】

本町保育園を建替等整備するについて、その位置を変更するもの。

○こども発達相談センター条例の一部を改正する等の条例　【第10号】

こども発達相談センターを移転するについて、その位置を変更するとともに、こども発達相談センターにことばの相談室を統合することに伴い、こども発達相談センターの業務について所要の改正を行うもの。

○手数料条例の一部を改正する条例　【第11号】

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の制定等に伴い、通知カード及び個人番号カードの再交付に係る手数料等について、所要の定めをするもの。

○自転車等の放置防止に関する条例の一部を改正する条例　【第12号】

自転車等駐車場条例の制定に伴い、自転車等駐車場の整理料等について、所要の改正等を行うもの。

新しい条例

○自転車等駐車場条例　【第13号】

自転車等駐車場を設置するに当たり、その設置及び管理について規定するもの。

人事に関するもの

○人権擁護委員の候補者推薦について　【諮問第1号～第4号】

任期満了に伴う候補者推薦

髙橋（たかはし）　ゆう子（こ）（再任）　齋藤（さいとう）　吉宏（よしひろ）（再任）

加藤（かとう）　廣行（ひろゆき）（再任）　松村（まつむら）　和美（かずみ）（再任）

○教育委員会委員任命の同意を求めることについて　【第14号】

鳥海（とりうみ）　正明（まさあき）

○公平委員会委員選任の同意を求めることについて　【第15号～第16号】

牧野（まきの）　房江（ふさえ）（再任）　土田（つちだ）　吉彦（よしひこ）（再任）

○監査委員選任の同意を求めることについて　【第17号】

齋藤（さいとう）　弘之（ひろゆき）

○固定資産評価審査委員会委員選任の同意を求めることについて　【第18号】

島崎（しまざき）　克美（かつみ）（再任）

その他

○専決処分の承認を求めることについて（権利の放棄について）　【第19号】

東日本大震災による被害により、過大な債務を負っている事業者の債務を軽減し、事業再生を支援するため、事業者への融資に伴う保証債務に係る回収納付金を千葉県保証協会から市が受け取る権利を放棄するもの。

○異議申立てについて　【諮問第5号】

保育所の平成27年度利用者負担額の変更決定について、異議申立てがなされたので、地方自治法の規定により議会に諮問するもの。

議員提出議案

○船橋市議会会議規則の一部を改正する規則　【発議案第2号】

議員の出産等に係る欠席の届出について所要の定めをするもの。

可決された意見書

◇ＩＣＴ利活用による地域活性化とふるさとテレワークの推進に関する意見書

◇地方創生に係る新型交付金等の財源確保に関する意見書

議案の議決結果

付託委員会	議案番号	件名	会派 公明党	日本共産党	船橋清風会	新成	自由民主党	市政会	市民社会ネットワーク	民主党	研政会	議決結果
予算特別	議案第1号	平成27年度船橋市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第2号	平成27年度船橋市介護保険事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
決算特別	認定第1号	決算の認定について（一般会計）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第2号	決算の認定について（国民健康保険事業特別会計）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第3号	決算の認定について（下水道事業特別会計）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第4号	決算の認定について（小型自動車競走事業特別会計）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第5号	決算の認定について（船橋駅南口市街地再開発事業特別会計）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第6号	決算の認定について（介護保険事業特別会計）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第7号	決算の認定について（母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第8号	決算の認定について（後期高齢者医療事業特別会計）	○	×	○	○	○	○	×	○	○	認定
	認定第9号	決算の認定について（地方卸売市場事業会計）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第10号	決算の認定について（病院事業会計）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
総務	議案第3号	船橋市個人情報保護条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可決
	議案第4号	船橋市職員退職手当支給条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第5号	船橋市市税条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可決
	議案第14号	教育委員会委員任命の同意を求めることについて（鳥海正明氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第17号	監査委員選任の同意を求めることについて（齋藤弘之氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
健康福祉	議案第6号	船橋市夜間休日急病診療所条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第7号	船橋市保健センター条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第8号	船橋市福祉会館条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第9号	船橋市保育所条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第10号	船橋市こども発達相談センター条例の一部を改正する等の条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	諮問第5号	異議申立てについて	○	×	○	○	○	○	○	○	○	異議なし
市民環境経済	議案第11号	船橋市手数料条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可決
	議案第19号	専決処分の承認を求めることについて（権利の放棄について）	○	×	○	○	○	○	○	○	×	承認
建設	議案第12号	船橋市自転車等の放置防止に関する条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第13号	船橋市自転車等駐車場条例	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
付託省略	議案第15号	公平委員会委員選任の同意を求めることについて（牧野房江氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第16号	公平委員会委員選任の同意を求めることについて（土田吉彦氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第18号	固定資産評価審査委員会委員選任の同意を求めることについて（島崎克美氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	諮問第1号	人権擁護委員の候補者推薦について（高橋ゆう子氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異議なし
	諮問第2号	人権擁護委員の候補者推薦について（齋藤吉宏氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異議なし
	諮問第3号	人権擁護委員の候補者推薦について（加藤廣行氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異議なし
	諮問第4号	人権擁護委員の候補者推薦について（松村和美氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異議なし
	発議案第2号	船橋市議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

陳情の議決結果

付託委員会	受理番号	件名	議決結果
総務	陳情第10号	外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書提出に関する陳情	不採択
	陳情第11号	NHK受信料の全世帯支払い義務化に反対する意見書提出に関する陳情	不採択
	陳情第12号	地方自治法及び国会法並びに請願法について、日本国憲法第16条の請願権規定の趣旨に合致する改正を求める意見書提出に関する陳情	不採択
	陳情第13号	「戦争法案」の廃案を求める意見書提出に関する陳情	不採択
健康福祉	陳情第14号	UR敷地内副流煙被害防止対策に関する陳情	不採択
	陳情第15号	千葉県の指針に沿った乳がん受診率向上に関する陳情	不採択
	陳情第16号	認可外保育施設通園児補助金申請増額に関する陳情	不採択
市民環境経済	陳情第17号	海老川上流地区土地区画整理地内の霊園建設反対に関する陳情	継続審査
建設	陳情第18号	馬込十字路付近に関する陳情	採択送付
文教	陳情第19号	少年・少女の運動器を守る施策に関する陳情	不採択

会派の構成

公明党
鈴木心一
木村修
藤川浩子
石崎幸雄
鈴木いくお
桜井信明
橋本和子
松橋浩嗣
松嵜裕次
斎藤忠

日本共産党
松崎佐智
中沢学
岩井友子
佐藤重雄
坂井洋介
渡辺ゆう子
金沢和子
関根和子

船橋清風会
長野春信
佐々木克敏
滝口宏
浅野賢也
杉川浩
鈴木和美

新成
高橋けんたろう
石川りょう
つまがり俊明
うめない幹雄
齊藤和夫
神田廣栄

自由民主党
小平奈緒
川井洋基
七戸俊治
滝口一馬
大矢敏子

市政会
中村静雄
藤代清七郎
日色健人
鈴木ひろ子
渡辺賢次

市民社会ネットワーク
池沢みちよ
朝倉幹晴
三宅桂子
浦田秀夫

民主党
三橋さぶろう
斉藤誠
岡田とおる
立花孝志

研政会
島田たいぞう
長谷川大

（平成27年10月16日現在）

議案質疑

今定例会に提出された議案について、市長に対して質疑したものです。

日本共産党　佐藤　重雄

第1号

質問 どのような施策で、どれだけのボリュームで、子育て不安を解消するのかが見えてこない。保育行政の将来展望を市は、どうイメージして予算を補正するのか。

答 **健康福祉局長**　既に策定済みで27年から31年の計画となっている、子ども・子育て支援事業計画は、基本理念から基本方針、それに基づく個別施策など全てを網羅した形で立てられている。保育所の整備目標等についても言及されているので、まずはこの計画を着実に実行していくことが大切であり、求められているのではないかと考えている。

質問 待機児童をゼロにして、子育て世代の不安をゼロにするというのがまず前提。今回の補正予算案を提出するに当たって、市長は、待機児童解消という問題にどこまで近づこうとしているのか。その決意と全体の将来の形は。

答 **市長**　待機児童が圧倒的に増えてしまって、いろいろ手を尽くして可能な限り対応しようということで取り組んでいるところである。なるべく早い時期で待機児童ゼロを宣言することができるような状況にしていきたい。

船橋清風会　長野　春信・杉川　浩

第1号

質問 本市の保育所待機児童数は、4月1日現在において国基準にて625名である。保育所施設整備補助金の補正予算もあがり、待機児童家庭は保育所整備が進むことを期待している。新たに10施設が予算化され、待機児童の解消に大きく前進したが、今後も保育需要が増加する予想があることから待機児童解消には至らない。そこで、認証保育所事業について伺う。認可保育所では、乳児3人につき1人、1・2歳児6人につき1人の人員配置基準は全て保育士資格を有することと定めているが、新設される認証保育所B型では1／2以上保育士資格があれば良いとされている。この基準で子どもの安全が守られると考えているのか。

答 **子育て支援部長**　資格を持たない人に対して市で実施する保育士向け研修や、園内研修の体制を整えることを勧奨する。

第19号

質問 地方自治法第179条は、本来どういう取り扱いをすべきものか。

答 **副市長**　専決処分は、真にやむを得ない場合に議会の権限に属する事項を長が代わって行う、補充的な手段を定めた制度。適切に運用する必要がある。

新成　つまがり　俊明

第1号

質問 介護士不足で法人が独自に宿舎を借りる例がある。保育士宿舎借上げ支援事業について、他の資格職との公平性の観点からはどのような検討をしたか。

答 **健康福祉局長**　自治体の保育士緊急確保を支援する国の施策を活用するもの。確保環境が異なるため、現時点では、介護職員について同様の事業を行うことは考えていないが、今後、人材確保の状況や国・県の動向を注視したい。

質問 市のPRに千葉ジェッツを活用することで市にどのような効果があるのか。

答 **企画財政部長**　ユニフォームに市章と市名が入りPR効果がある。試合会場での特産品販売や小中学校等への講演でスポーツ振興による地域活性化に寄与する。

第3号

質問 マイナンバー等の悪用に対する罰則規定や庁内の情報管理の対策は。

答 **総務部参事**　番号法に市条例より重い罰則規定がある。情報管理については、船橋市情報セキュリティ対策基準等に定める安全対策を適正に実施するほか、職員研修や、マイナンバー関連事務システムのサーバーが設置されている部屋への電磁的記録媒体の持込み制限などを行う。

市政会　鈴木　ひろ子・日色　健人

第1号

質問 保育士宿舎借上げ支援事業について、船橋市独自のインパクトのある制度としなければ効果がないのではないか。市独自の制度の活用について見解を。

答 **子育て支援部長**　まずは国の補助の範囲内で実施し、その上で工夫できる点を早急に検討し実施したい。

質問 千葉ジェッツには最大限の地域貢献活動を求めたい。「船橋市民DAY」として千葉ジェッツだけのイベントを行い、交付金を投入するというが、「船橋ジェッツ」への名前変更は求めているか。

答 **企画財政部長**　千葉ジェッツは地域貢献活動が非常に活発で、さらに様々な活動を行いたいという意向も伺っている。改名については引き続き要望したい。

第13号

質問 原付の定期利用料金について、当初の計画では自転車1に対し1．3となっていたが、条例案では1対2となっている。どうしてこのようになったのか。

答 **都市整備部長**　料金改定後の最低金額と最高金額を現行の50％から150％の間とする原則から外れることとなったため、現行の1対2のままとした。

市民社会ネットワーク　三宅　桂子

第13号

質問 歩道上の駐輪場で公の施設とする場所があるが、恒久化しないか。

答 **都市整備部長**　国土交通省通達の路上自転車・自動二輪車等設置指針に概ね合致する駐輪場は公の施設として位置づけ駐輪場として運営していく。新たな駐輪場の用地が道路以外の場所で確保できれば、費用対効果も含め整備を検討したい。

質問 「船橋市自転車等駐車場条例」で段階的な料金を導入したが、値上げとなっている点についてどう考えるか。市の経費を超える収入になっていないか。

答 **都市整備部長**　受益者負担の原則で、駐輪場の管理運営コストを利用者全員で100％負担していただくこととしている。値上げにはなるが26年度決算ベースでは管理運営費の99・4％となることを想定している。

質問 日ぎめの駐輪料金について、船橋駅南口地下駐輪場のように、回数券の導入を検討できないか。

答 **都市整備部長**　利用率の低さから船橋駅南口地下駐輪場に限り回数券を導入している。全市の駐輪場への拡大は、今回の料金改正の影響等を3～4年見た上で、十分検討したい。

民主党　斉藤　誠

第5号

質問 申告書などに個人番号が記載されていない場合でも、市は受領しないわけにはいかないと考えるが、見解は。

答 **税務部長**　従来どおり、運転免許証等で本人確認ができるので、受理する。

第11号

質問 来年からの個人番号カードの発行には、引き換えに窓口で通知カードを渡す必要がある。しかし、交付申請を郵送で行う際、申請書と一緒に、誤って通知カードも地方公共団体システム機構に郵送してしまうケースが推察される。この場合の再交付にも手数料は必要か。

答 **市民生活部長**　機構から通知カードが返送されるため、再交付の必要はない。

質問 カードの発行・再発行時に暗証番号の設定を行うが、セキュリティに十分注意が必要。窓口での具体的な対策は。

答 **市民生活部長**　暗証番号の入力画面にフィルターを設置し覗き見を防止する。

第13号

質問 日ぎめは従来どおり100円だが、支払いの手間や現金の管理が問題だ。電子マネーを利用することへの見解は。

答 **都市整備部長**　電子マネーに対応した入退場ゲートの導入を検討中。

研政会　長谷川　大

第19号

質問 議案書には「権利の放棄については、特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないので、地方自治法第179条第1項の規定により次のとおり専決処分する」とあるが、今回の専決処分の客観的な理由は。

答 **経済部長**　市として慎重に対応するため、財務の専門家の意見を聞くことや、事業者への経営状況の聞き取りや被災状況の確認などをしなければならないと考え、このような手続きを経て、議会に諮る必要があることから、今回の案件においては、結果として時間的な余裕がないと判断し専決処分をした。

質問 信用保証協会から何らかの書類をもらった段階で議会に相談しなかった理由は。

答 **経済部長**　慎重に判断せざるを得ず、それがまだ決定していない段階で相談するということは考えていなかった。

質問 地方自治法第179条の専決処分はどうあるべきと考えているのか。

答 **副市長**　真にやむを得ない場合には、議会の権限に属する事項を長が代わって行う、補充的な手段を定めた制度として適切に運用する必要があると考えている。

公明党　藤川　浩子

第1号

質問 ふなばしセレクションPRブースで「船橋その魅力」のDVDを流して紹介してもらいたいと考えるが可能か。

答 **経済部長**　DVDの工業製品や加工食品の部を放映し、認証品をPRしたい。

第12号

質問 保管期間切れの自転車の処理方法について、現在の状況は。

答 **都市整備部長**　市内の自転車商協同組合所属団体や市再生センターを通じリサイクル、廃棄処分を無償で行っている。

質問 この改正で、引き取りがない自転車について保管に不相当な費用を要する場合は、売却し、その代金を保管することができるとあるが、今後の見通しは。

答 **都市整備部長**　現在お願いしている組合の方々に有償での譲渡をお願いする。

質問 高いという声のある移送保管料見直しの検討は。また、保管場所が不便で取りに行けないという意見への見解は。

答 **都市整備部長**　撤去自転車の移送に1台9千円かかっていることもあり、今のところ見直しは考えていない。保管場所は、可能であれば利便性の良い場所で短期間保管し、その後現在の保管場所に移すという運用ができないか研究する。

※本会議の会議記録は議会事務局及び図書館・公民館で、委員会記録は議会事務局でご覧になれます。
なお、いずれも市議会のウェブサイトで公開しております。

各委員会の報告

委員会付託された議案・陳情等について、それぞれ担当する内容を専門的に話し合い、委員会としての結論を本会議に報告します。

予算特別委員会

議案

第1号は、「補正予算に計上した事業を円滑に行い、十分な効果が得られるよう期待する」「地域活性化の効果を検証し、千葉ジェッツのホームタウン・船橋をしっかりとつくることに生かすこと、保育所・特別養護老人ホームに関する予算を有効に使うことを要望する」「シティセールスについては、具体的な根拠をもって説明できる論立てを、まずしてほしい。B型の認証保育は、安上がりだと言われないように、きちんと対応するよう要望する」との賛成討論があった。

第2号は、「基金の積立金について研究し、安定した運営をしてほしい。積立金をやたらふやしたいという誘惑には負けないでほしい」との賛成討論があった。

採決の結果、**第1号**、**第2号**ともに全会一致で可決した。

決算特別委員会

一般会計は、不認定の立場で「少子化の原因が市の子育て環境にあるという認識が欠如している。格差は、一般的に暮らしている市民の間にも拡大している。この決算を認定することは、市長部局の手抜きを容認することになり、議会の使命を放棄するという誤りを犯すことになる」、認定の立場で「今後の市政の方向性を示す予算であった。決算内容にも市長の思いが反映された取り組みの結果が出ており、責任ある予算執行が行われた」「後期基本計画に示された課題の解決に向けた、積極的な取り組みを評価する。引き続き財政状況の安定化に努め、山積した課題に積極的に取り組むよう要望する」「子育て支援や災害への備え、福祉の充実に向け、着実に実行された。本委員会の開会を早めた議会の趣旨を理解し、この審査結果を平成28年度予算に反映するよう要望する」「市民生活に密接した分野への取り組みの強化は評価する。今後、地方創生総合戦略の策定や、来年度予算の検討に本委員会での議論を生かすよう要望する」「市税収入の伸びが、転入による人口増によるものであることを考えると、今後さらに多様な市民サービス、施設整備が必要。保育の待機児解消について、平成28年度には必ず成果を上げること等を要望する」「財政の健全性を維持しながら、本市のさらなる発展のために、実施計画に挙げる事業が着実に推進されることを期待する」「放課後ルームの待機児童が発生しないよう国の事業を積極的に使って対応してほしい。収入未済・不納欠損回収について、現年分から1つの部署で回収していく体制をとらないと非効率なので、体制の抜本的な見直しに真剣に取り組んでほしい」「本市が抱える課題の解決に取り組んだものと評価する。一方、総務部所管の事務事業のでたらめが明らかになった。管理職の職員配置を含め、事務事業の指導監督に関し、特別職の幹部に猛省を求める」との討論があり、賛成多数で認定した。

総務委員会

議案

第3号は、「情報流出の心配があり、何よりも番号法を前提とした条例改正となっている」との反対討論、「番号法制定に伴う個人情報の取り扱いに関する必要な改正である」との賛成討論があった。

第5号は、「番号制度そのものに反対。番号の記載がなくても受け付けすることから、番号法ができたとしても、番号記載の必要はない」との反対討論があった。

第14号は、「時宜を得た選任をしていただいたと感じ取れた」「臨床心理にかかわる方が入るのは非常に有効」「反対しなければならない理由が認められない」「人格、識見とも大変高く、教育委員として適任」との賛成討論があった。

採決の結果、**第3号**、**第5号**は賛成多数で可決、**第14号**は全会一致で同意した。

陳情

第10号は、「他市の市議会議員が陳情を出すというのはどんなものかということを考えてもらうため」「一定の基準に基づいた申請で事務が行われている」「扶養しているかどうか厳密な取り扱いができるように事務改善等がなされている」との反対討論があった。

第11号は、「政治がＮＨＫ受信料や放送の問題に必要以上に関与することに賛成できない」「放送法64条が違憲の疑いがあるというが、支払いと、憲法19条は別の立場である」との反対討論があった。

第12号は、「本市議会は請願も陳情も同じように取り扱っている」「地方自治法、国会法、請願法については、憲法16条と合致している」との反対討論があった。

第13号は、「法律を点検して隙間を防ぎ、抑止力を高めて戦争を未然に防ぐことが、今回の平和安全法制の目的」「まさしく有事にならないための法整備」「陳情のタイトルが法案の正式名称ではなく、レッテル張りと言われる「戦争法案」となっている」との反対討論、「この「戦

争法案」は憲法違反である。市民の将来の暮らしや安全を考え、今この「戦争法案」をとめるのが、地方議会として大事な仕事である」との賛成討論があった。

採決の結果、**第13号**は賛成少数で、**第10号**、**第11号**、**第12号**は賛成者なしで、不採択となった。

健康福祉委員会

議案

第6号は、「祝休日の昼間も、日曜や年末年始同様、夜間休日急病診療所で診療が受けられるようになる。利便性も高まり、利用者にとって大変有益な改定である」との賛成討論があった。

第10号は、「就学前の難聴児や言語障害児等のサポートを続けるということなので、この重要な取り組みを続けるよう要望する」「子供たちが包括的にいろいろな角度から指導・訓練を受けられるようになるのは、素晴らしい進歩である」との賛成討論があった。

採決の結果、2案はいずれも全会一致で可決した。

諮問

第5号は、「同意すると、市長部局の誤りの隠ぺいに議会が同意することになる。市の対応の仕方も社会常識を逸脱している。市は、きちんとした形で責任を取るべきである」との反対討論、「市の曖昧な任用体制が生んだ事故の気がする。無責任な体制が生んだ電子情報システム上の問題の露呈でもある。初期対応にも疑問を呈するが、法的には支払っていただかざるを得ない」「誤りや対応の悪さは遺憾だが、当初の誤った額にすることは、不公平となり公益に反する。応能負担の原則に基づく適正な額の納付をお願いすることが、適切な対応である」「棄却には賛成するが、事務の取り扱いや対応等のミスは認めざるを得ない。二度と同じようなことが起こらないようにしてもらいたい」「行政手続条例には違反していないとのことであり、応能負担からも、お支払いいただくよう市が努力すべきである。今後、こういった処理が適切にされるよう注意してほしい」「額が上がることを受け入れている方との公平性と、市が負うことになる損失の原資も税金であることを踏まえ、賛成。今後、問題点をどう改善するか、厳しくチェックしていく」「正規の額との差を免除する理由が見つからないので、棄却せざるを得ない。ただ、市に誠意が感じられない。市としてのあり方を根本から考え直す材料にしてほしい」との賛成討論があった。

採決の結果、賛成多数で異議がない旨答申することに決した。

市民環境経済委員会

議案

第11号は、「情報漏えいや犯罪に利用される危険が大きくある」「自分で管理等できない方々のカードは悪用され、新たな犯罪が生まれる可能性もある」との反対討論、「適正な手数料だと思う」との賛成討論があった。

第19号は、「市民への説明責任を欠き、議会を軽視する専決処分は認められない」との反対討論、「船橋市中小企業資金融資制度促進に関する覚書に基づいて行われるものであり、それに準ずるものであるという観点から承認したい」「今後、地方自治法及び第28次地方制度調査会答申を踏まえ専決処分を適切に運用することを要望して、賛成」「今後、同様の案件があった場合には、専決処分には慎重であっていただきたい」「今後、疑義が残らないような形で実施していただきたい」との賛成討論があった。

採決の結果、2案はいずれも賛成多数で可決した。

建設委員会

議案

第12号は、「本条例の規定を着実に実行し、早急に需要に見合う駐輪場の整備を図るよう求める」との反対討論、「レンタサイクルについて、市の特性を生かしたモデルを構築し、実現に向けた条例改正を要望する」との賛成討論があった。

第13号は、「駐輪場の増設に対する市の責任が示されていない。また、料金減免制度の対象を拡大すべき」との反対討論、「新料金で運営する際の十分な周知、さらなる利便性の向上を図ることを要望する」「駐輪場確保への早急な着手、料金のあり方についての今後の継続的な検討を要望する」「今後の利用率の推移とその検証について、後日報告を求める」「歩道の駐輪場は、恒久的な利用でないことを確認したい」「放置自転車には慎重に対処し、利用者の不公平感のないようにすべき」との賛成討論があった。

採決の結果、2案はいずれも賛成多数で可決した。

文教委員会

陳情

第19号は、「運動器健診が来年4月1日から実施をされること及びピッチングマシーンを24校が所有している実態から、陳情の目的にほぼ合致している」との反対討論、「少年少女の運動器疾患及び障害の予防等は必要。なお、野球以外のスポーツにおいても運動器疾患の予防策を生徒に周知徹底すること及びピッチングマシーンの導入は学校ごとに状況判断し検討すること」との賛成討論があった。

採決の結果、賛成少数で不採択となった。

閉会中の委員会報告

議会の閉会中においても、所管に係る懸案事項などについて調査研究をします。前定例会閉会後から今定例会開会前までに開催された各委員会の活動を報告します。

議会運営委員会

第3回定例会に提出される議案等の説明を受け、会期や審議日程等について協議を行いました。また、会派からの提案事項について協議を行い、船橋市議会改革についての理念と基本方針を決定したほか、開会時刻を午前10時とすることや、本会議で発議案の提案説明、質疑等ができるよう第4回定例会での試行に向け検討を行いました。

7月13日　会議
- 提案事項について
  今後の協議の進め方について

8月　6日　会議
- 提案事項について
  今後の協議の進め方について

8月17日　会議
- 提案事項について
  (1)開会時刻　午前10時　(2)発議案（意見書等）の本会議で提案説明・質疑・討論保障
  (3)予算（1定）・決算　質疑持ち時間制廃止　(4)予算（1定）・決算　質問とり禁止

8月20日　会議
- 第3回定例会の審議日程等について

総務委員会

社会保障・税番号制度について、また、船橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略について、所管課からそれぞれ制度の概要や事業の進捗状況の説明を受け、質疑を行いました。

8月12日　会議
- 社会保障・税番号制度について
- 船橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- 行政視察について

市民環境経済委員会

地方卸売市場の現状や取り組みなどについて、船橋市地方卸売市場を視察しました。

現地では、青果物卸売市場や水産物部仲卸店舗売場、冷蔵庫棟、関連事業者店舗棟などを説明を受けながら見学し、その後、卸売市場の現状や、管理棟の建て替えについての説明を受け、質疑を行いました。

7月24日　視察
- 船橋市地方卸売市場
  （地方卸売市場の現状や取り組みについて）

船橋市地方卸売市場での視察風景

健康福祉委員会

公益財団法人船橋市医療公社及び公益財団法人船橋市生きがい福祉事業団より参考人を招致し、法人の経営状況について説明を受け、質疑を行いました。
また、一般社団法人船橋市保育協議会より参考人を招致し、私立保育園における保育の状況等について説明を受け、質疑を行いました。

7月3日　会議
・待機児童解消緊急アクションプラン等について　　・健康福祉委員会の運営について
・行政視察について

7月13日　会議
・参考人の出席要求について

8月10日　会議
・法人の経営状況報告の件（公益財団法人船橋市医療公社、公益財団法人船橋市生きがい福祉事業団）
・保育について（子ども・子育て支援新制度の実施後の状況、待機児童解消緊急アクションプランについての考え方、私立保育園での職員配置の状況、保育行政における公立保育園と私立保育園の役割のあり方）

広報委員会

小中学生議会見学会の開催日を決定したほか、対象者への周知方法等の協議を行いました。
また、ケーブルテレビの本会議録画放映について協議したほか、今後の委員会での各会派提案の協議事項について説明等を行いました。

6月29日　会議
・平成27年7月25日発行予定のふなばし市議会だより221号について　・小中学生議会見学会について
・ケーブルテレビによる今後の本会議録画放映について　・広報委員会の協議事項について

7月21日　会議
・第6回小中学生議会見学会について　・ケーブルテレビによる今後の本会議録画放映について
・広報委員会の協議事項について

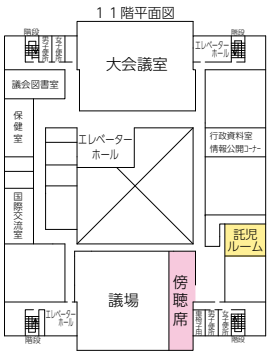
市議会の傍聴に来てみませんか？

船橋市議会では、会議を市民の皆さまに公開しています。市の重要な計画や事業について話し合う市議会の様子を直接見聞きすることができる場です。

本会議の傍聴

中学生以上の方ならどなたでも、所定の手続を行うことで傍聴することができます。

・受付場所　市役所本庁舎11階の傍聴席入口前で受付（右図参照）
※各日の開会時刻の30分前頃から、先着順に傍聴券を交付します。
・注意事項　議場内での飲食や私語、携帯電話の使用の禁止など、受付時の係員の指示を守って傍聴してください。



委員会の傍聴

各委員会は、開催日ごとに、委員長の許可を得て傍聴することができます（請願・陳情の審査は、提出者を優先）。直接、議会事務局（市役所本庁舎10階）へお越しください。

託児ルームをご利用ください

1歳から就学前の幼児を対象に、託児ルームをご用意しております。
ご利用希望日の7日前までにご予約ください。
予約受付：議会事務局庶務課（047-436-3012）

一般質問

市の一般事務に関して、事務の執行状況、将来の方針等の所信や疑問をただし、あるいは報告や説明を求めるものです。

企画・財政

公共施設等総合管理計画

日本共産党　中沢　学

質問 市は現在、公共施設等総合管理計画を策定中だが、示された概要には統廃合や総量削減といった方針しかない。保育園の待機児童は増え続けている。学校もマンモス校の問題が一向に解消されていない。公民館、図書館、公園、スポーツ施設など多くの公共施設が不足しており、市民の利用需要は人口のピーク時に向けて今後さらに増大していく。必要な施設を増設する方針こそ盛り込むべき。

答 **企画財政部長**　必要に応じて整備も行っていかなければならないことは言うまでもない。市の人口は当面の間は微増することが想定されている。この想定と計画の整合をとっていく。総量規制や削減といったことはまだ全く考えていない。

オートレース事業

新成　うめない　幹雄

質問 レース場跡地の土地及び施設所有者との意見交換や情報収集の状況は。

答 **企画財政部長**　新しい情報はない。引き続き情報収集し、意見交換したい。

質問 地方創生を謳うのであれば、歴史あるオートレースは雇用の面からも市に貢献しており前向きに考えるべき。結果、地方創生につながると思うが見解は。

答 **企画財政部長**　地方創生につながる一面はあるが、市の財政負担への影響を考慮し廃止を判断した。

市制施行80周年記念事業

自由民主党　大矢　敏子

質問 あと2年で市制施行80周年を迎える。現時点で取り組みやイベント等の考えは。事業内容によっては、28年度予算も必要となると思うがいかがか。

答 **企画財政部長**　開設を29年度に予定している施設については、市制施行80周年記念事業として位置づけ検討していきたい。また、日本・デンマーク外交関係樹立の150周年の年にも当たることから、これを記念した国際交流事業についても実施していきたいと考えている。

オリンピックのキャンプ地誘致

市政会　渡辺　賢次

質問 キャンプ地の応募要項が発表されたが誘致状況と誘致による経済効果は。

答 **企画財政部長**　どの施設でどのような競技が可能か精査中。集客による消費など、相当程度の経済効果は見込める。

質問 キャンプ期間中、市民が施設を利用できなくなることについての見解は。

答 **企画財政部長**　一定の期間利用が制限される可能性があると考えられ、市民の理解・協力を得る必要がある。

執行機関と議会の関係

研政会　長谷川　大

質問 どのように考えているのか。

答 **市長**　執行機関と議会は、車の両輪ということで表現されることが多く、お互いに牽制をしてしっかりやっていくものだと理解している。それぞれが権能を持っているので、それぞれの権能をしっかりと生かしながら、お互い注意をし合いながらやっていくことで、市が前進できると思っており、当然、議会としての権能が果たされる。それに基づいて執行機関側も十分注意をしてやりとりをする関係にあると思っている。

NHKと船橋市の関係

研政会　立花　孝志

質問 市は、NHKにだまされて余分に支払わされていた放送受信料を返金してもらったか。

答 **企画財政部長**　すでに支払った放送受信料を返金できるかどうかNHKに確認していきたいと考えている。

質問 市では、ワンセグ機能付き携帯電話やカーナビでNHKと放送受信契約を締結しているのか。

答 **企画財政部長**　本庁舎については、ワンセグ機能付きの携帯電話やカーナビについて放送受信契約を締結していない。

シティプロモーションの取り組み

公明党　松橋　浩嗣

質問 シティプロモーションの観点から情報発信にどう取り組んでいるのか。

答 **市長公室長**　魅力の発掘・創出・発信をより強く行っていけるよう、若手職員向けに魅力発信の重要性、より効果的な魅力発信の手法などを学ぶ「魅力発信塾」を開催し、シティプロモーションを意識して業務に取り組むよう努めている。

防災

飯山満川水害対策

日本共産党　渡辺　ゆう子

質問 河道整備、流域への貯留浸透施設の設置を急ぐべき。いつやるのか。

答 **下水道部長**　河道整備は、県管理2級河川部分の施工完了に合わせ行う。流域対策は、学校など公共施設で効果の高いところから行う。いつまでにとは言えないが、必要なことを早急に検討する。

質問 芝山7丁目、16号橋附近について、高台からの雨水流入を防ぐ対策を。

答 **下水道部長**　現地を調査した。雨水流入を食い止める方策を検討していく。

質問 水害を防ぎ、自然の水循環を取り戻すため、市民の協力をいただいて、全額市費で雨水浸透マスを設置すべき。

答 **下水道部長**　全額補助の是非が課題。調査中で、もう少し時間をいただきたい。

災害時の動物救護

新成　齊藤　和夫

質問 市内全域全ての避難所で、ペッ

ト同行者の受け入れは可能か。

答 **市長公室長**　飼い主の責任のもと、小中学校のような飼育スペースを確保できる宿泊可能避難所では受け入れ可能。

質問 **大規模災害時には獣医師会やボランティアの協力が必ず必要になる。協定締結に向け協議を始めるべき。また、動物用の食品や医薬品等の供給元を確保しておく必要があると思うが見解は。**

答 **市長公室長**　関係部署と協議する。

災害時においてもペットたちに継続的な支援を

初期消火に役立つスタンドパイプ

自由民主党　**大矢　敏子**

質問 自主防災組織への補助金の範囲で購入するとなると自治会の負担が大きすぎる。補助金額の見直しを要望するが、普及と啓発についてどのように考えるか。

答 **市長公室長**　今後普及に向けて、どのようにしていくことがより効果的なのか、排水栓の活用の要望なども調査しながら検討していきたい。

ヘリコプターによる災害対応

民主党　**三橋　さぶろう**

質問 ヘリサインの数と、設置計画は。

答 **市長公室長**　市内には14か所ある。適した施設の有無等を調査し検討する。

生活・安全

振り込め詐欺被害県内ワースト1位

新成　**高橋　けんたろう**

質問 本市の被害件数は本年6月時点で県内ワースト1位である。この現状を市はどのように認識しているか。

答 **市民生活部長**　各種団体と協力し注意喚起に努めているが、被害に歯止めがかからない状況であると認識している。

質問 柏市のように、振り込め詐欺に関するアンケートを市内の老人クラブ加入者にとり、本市でも分析するべきでは。

答 **市民生活部長**　有効と考える。年内の調査実施に向け関係各機関と調整する。

子育て・健康・福祉

骨髄バンクドナー登録の推進事業

民主党　**岡田　とおる**

質問 ドナー登録者への支援金制度創設と啓発活動の推進についての見解を。

答 **保健所理事**　市民や企業への呼びかけを今後も継続する。制度は他での実績が少ないので効果を調査する必要がある。

ドナー登録のしやすい環境づくりを

地域包括ケアシステム構築の進捗状況

質問 庁内の各専門部会では現在どのような検討がされ、また今後の方向性は。

答 **健康部長**　今年度事業の取組み内容を部会として共有するほか、来年度の事業や市民向けお知らせの作成を検討する。

児童相談所への職員派遣による課題把握

民主党　**三橋　さぶろう**

質問 市川児童相談所へ派遣中の職員2名はどのような業務についているのか。

答 **子育て支援部長**　相談調査課で、児童虐待等の調査や援助に携わっている。

質問 他の部署にも職員を派遣すべき。

答 **子育て支援部長**　幅広く実務を把握すべく対応について関係部署と協議する。

障がい者対策

公明党　**斎藤　忠**

質問 難聴児にとって、早期の補聴器装用は重要であるが補聴器は高価である。そこで市には軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業があるが、この制度で修理費用が対象外とされている理由は何か。

答 **子育て支援部長**　県の制度に準じた。

質問 費用の3分の1の自己負担は軽くない。補装具費と同じ1割負担で購入できるよう制度を改めるべきでは。

答 **子育て支援部長**　理解しており、まずは先進事例や県内の状況を把握したい。

質問 視覚障がい者が日常的に利用する公共施設や福祉施設等の周辺に、一刻も早い横断歩道用の誘導ブロック（エスコートゾーン）の整備を求めるが見解は。

答 **道路部長**　耐久性の問題等で設置されていない。改めて警察に強く要望する。

健康施策・糖尿病予防対策

公明党　**石崎　幸雄**

質問 本市の糖尿病患者及び予備軍の実態、糖尿病医療費について問う。

答 **健康部長**　国保加入者だけで約2万人の患者及び予備軍が推測される。平成26年5月データによると、医療費総額は約1億9百万円、1件当たり約2万円。

質問 早期発見・早期治療につながる薬局でのヘモグロビンA1c簡易検査実

施や、重症化予防事業推進について問う。

答 **健康部長**　薬局での簡易検査は認識しているが、まだ情報不足のため先進自治体から情報を得る。糖尿病合併症として腎機能低下があり、人工透析導入者の約半数は糖尿病が起因とされている。人工透析の医療費は年間一人4百万円から5百万円になり、医療費増大の要因である。糖尿病予防事業の展開を検討する。

シルバーリハビリ体操の普及

公明党　木村　修

質問 普及促進のため講座の内容を動画配信したりDVDを作成してはどうか。

答 **健康部長**　イラスト入りの案内を市のHPに掲載するとともに、教室の一場面等の動画を閲覧できるようにしたい。

データヘルスについて

質問 医療費や家族の負担から生活習慣病の重症化防止は重要。市の取組みは。

答 **健康部長**　国民健康保険被保険者の特定健診の結果を参考に対象者を抽出し、リスクの高い方へは電話で保健指導を行うほか、医療機関未受診者には受診を勧める。連絡が取れない場合、レセプトから受診を確認し、未受診の場合、再度連絡する。検査数値が悪い対象者は、電話の際に状況確認と早めの受診を勧奨する。

来年度からの日常生活支援総合事業

日本共産党　松崎　佐智

質問 介護保険の改悪で、来年度から要支援者の訪問介護や通所介護が市の総合事業に移行する。要支援者が必要なサービスを受けられなくならないか。

答 **福祉サービス部長**　ケアマネジメントに位置付けられることにより、必要な専門的サービスを利用いただける。今現在、新総合事業については検討中。

国民健康保険料の軽減

質問 国は低所得者対策の強化のため、支援金を配分した。この支援金は被保険者の負担軽減を図るために全額使うべき。

答 **健康部長**　県内でも本市の保険料は、安い水準である。保険料を引き下げることは現在のところ考えていない。

後期高齢者へバス無料パスの発行を

市民社会ネットワーク　浦田　秀夫

質問 後期高齢者の外出支援や免許証返納を促し、交通安全を確保するためにバス無料パスの発行を検討できないか。

答 **企画財政部長**　財政負担に耐えられる持続的な制度でなくてはならない。現在、外出支援の様々な施策をとっている。こうした施策の効果などを十分見極めながら検討していきたい。

アンデルセン公園、子ども入園料の無料化を

質問 アンデルセン公園の入園料は、4才以上高校生以下の子どもたちが有料になっているが無料化を検討する考えは。

答 **都市整備部長**　公園の管理運営費に負担のかからない方法での、入園料を含めた子どもたちの利用機会を増やす方策を、指定管理者とともに検討したい。

多彩なプログラムが用意されているふなばしアンデルセン公園の子ども美術館

アンデルセン公園の設備

市民社会ネットワーク　池沢　みちよ

質問 HP上「救護室」の表記がわかりにくい。また、看護師の増員予定は。

答 **都市整備部長**　表記は一目見てわかるようにする。看護師は他のスタッフと連携し対処し、当面は今の体制を維持。

子どもの貧困対策

質問 高校生の給付型奨学金、スクールソーシャルワーカーの配置、食事サービスの提供等の本市独自の対策・計画は。

答 **子育て支援部長**　県の計画を注視し当面は関係部署と連携を図り大綱に沿う。

障がい者雇用の促進

新成　つまがり　俊明

質問 業種により障がい者を受け入れるのが困難な職種がある。法定雇用率を達成できず困難を抱えている企業に対し、市として積極的にアプローチしアドバイスしていく必要があると思うが見解を。

答 **経済部長**　各種奨励金制度の活用を促す。また、障害者職場実習先開拓員が未達成の企業にも積極的に訪問し、併せて障害者雇用に積極的に取り組む優良事業所を紹介したリーフレットや職場実習事例集などで、情報提供していきたい。

福祉人材確保対策

市政会　藤代　清七郎

質問 介護の専門学校や大学への訪問、人材確保のイベントの開催など市として更なる人材確保の取り組みが必要では。

答 **福祉サービス部長**　市内の介護サービスの業界団体等と話し合いながら、市として何ができるか検討していきたい。

4 経済・産業

ふなばしプレミアム付商品券

公明党　桜井　信明

質問 9月から子育て世帯応援券が始まった。プレミアム付商品券と子育て世帯応援券を期限までに使い切っていただくために、改めて消費喚起のPRを行う必要があるが、対策を伺う。

答 **経済部長**　商品券の使用忘れがない

よう、広報ふなばしでお知らせするとともに、取扱店でポスターを掲示して呼びかける。

盛況のうちに販売を終えた「ふなばしプレミアム付商品券」

ふなばし地域若者サポートステーション

公明党　鈴木　心一

質問 本市のサポートステーション事業において就労が決まらず滞留している利用者に対する今後の取り組みを伺う。

答 **経済部長**　心に悩みを抱える利用者が多く、一人一人にゆとりをもってカウンセリングに臨める環境は必要と思う。配置人数について委託先と協議する。

質問 働きづらい事情を潜在的に抱える若者が入所することも考えられるが。

答 **経済部長**　医療への誘導が必要と判断した際は保護者等家族の理解と協力を頂けるよう連絡を取る体制を指導する。

質問 現在の事業所はスペースが充分とはいえない。今後の考えを伺う。

答 **経済部長**　支援環境を改善するため、運営法人と新たな設置場所を検討中。適切な場所があれば、予算要望したい。

プレミアム付商品券

日本共産党　坂井　洋介

質問 購入した者より枚数が不足していたという報告がある。商品券を印刷してから、販売するまでの取り扱い方法、販売方法や金額の確認方法は。

答 **経済部長**　無作為に抽出し検品した。販売時の手渡す際に、枚数・金額の確認はしていない。販売時に抜き取られた可能性は低く補償はできない。

プレミアム付商品券の販売方法の課題

新成　石川　りょう

質問 対面販売では、長時間並ぶことにより体調不良を起こす方がいたり、長蛇の列が一般歩行者や車両の通行を妨げてしまうことがある。他市のような抽選方式であれば、並ぶ必要がなく、体調や安全に関する問題は発生しなくなるが、販売方法の一つとして検討すべきでは。

答 **経済部長**　事業を実施してきた中で改良してきたが、課題は幾つかある。これまでの実績や他市の状況などを見て、よりよい方法で対応していきたい。

お花見バスの運行

自由民主党　小平　奈緒

質問 市内には、桜の名所がたくさんあるが、残念なことに交通のアクセスが悪い場所も多い。お花見の時期に桜の名所を巡るお花見バスの運行はできないか。

答 **経済部長**　臨時無料バスを運行させるのは難しいが、27年度から観光モニターツアーを予定している。そのツアー内で桜の名所を組み込めないか、観光協会などから意見をうかがっていく。

市内の桜の名所を巡るお花見バスの運行を

経済の活性化

質問 政府がクールジャパン戦略を進めている。本市でも海外でも人気の高いアニメなどのサブカルチャーに注目し、関連店舗・施設の誘致やイベントを行うなどの経済施策を進めてほしいがどうか。

答 **経済部長**　サブカルチャー関連の産業については、新たな起業、外国人観光客誘致施策として有効と考える。商店街の空き店舗の活用など関連団体と意見交換をしていきたい。

ふなばし三番瀬海浜公園のPRを

自由民主党　滝口　一馬

質問 東京都が葛西臨海公園で海水浴社会実験を実施し、テレビ等で報道された。潮干狩りの季節終了後でも、バーベキューに来た家族や若者が水辺で遊ぶ姿を想像すると非常に楽しそうだ。本市の海浜公園でも海水浴の実験をしてみては。

答 **経済部長**　前向きな提案を頂いた。市としても、海に面した公園ならではの魅力を今後も大いにPRをしていきたい。

環境

旧日本建鉄跡地地下水汚染対策

市民社会ネットワーク　朝倉　幹晴

質問 旧日本建鉄船橋工場跡地から地下水へのトリクロロエチレン流出による井戸水汚染について、7月の説明会で私は原因究明を求めた。原因は。

答 **環境部長**　三菱電機には当時の記録が残っておらず把握していないとのこと。

質問 井戸水を利用していた住民の健康調査の状況と費用負担は。

答 **保健所理事**　8月31日現在、71名を問診し、43名が健康診断受診となった。今後も申し出があれば問診等を行う。過去の居住者にも連絡を取る努力をしてい

る。費用は原則、三菱電機が負担する。

有価物持ち去り対策
民主党　斉藤　誠

質問 GPSを活用し、買取業者にも指導を行える体制づくりや、近隣市との合同パトロールを提案するが、見解は。

答 **環境部長**　先行事例を分析し、関係団体との協議や各市との意見交換を行う。

地球温暖化対策
日本共産党　金沢　和子

質問 昨年、公共施設への太陽光発電設置基準の見直しを行うという答弁があったが、3月に策定した再生可能エネルギー等導入方針ではどう検討したか。

答 **環境部長**　導入方針では、大規模施設に限らず、全ての施設で建物の強度や設置面積、費用対効果を勘案の上、設備容量を50kw未満まで、設置可能とする拡大の見直しをした。

質問 小水力発電について、約6ケ月間実証実験の装置が稼働していなかったため、26年度中のデータがとれていない。期間を延長し、新規導入に向けて十分なデータが作成されるよう求める。

答 **下水道部長**　実験が継続できるよう、相手企業と協議していきたい。

まちづくり

船橋駅南口からの街路樹と都市景観
自由民主党　滝口　一馬

質問 駅から南に向けて、クロガネモチ、銀杏、ケヤキの木が植樹されている。都市景観としてのコンセプトやストーリー性が感じられないだけでなく、ムクドリの被害もある。駅からメインストリートの都市景観をどのように考えるか。

答 **都市整備部長**　街の印象を決める顔となるところであるため、地域性を持った風格ある都市景観が望ましい。その点から見ると十分とは言えない状況である。

下水道整備事業
市政会　渡辺　賢次

質問 市街化調整区域の整備着手は。

答 **下水道部長**　市街化区域には、多くの未整備地区が残されている。当面は市街化区域の整備を優先したいが、市街化調整区域の対応も、並行して検討する。

山手1丁目の道路整備
市民社会ネットワーク　池沢　みちよ

質問 ゴルフ練習場前の段差改修は。

答 **道路部長**　所有者と協議後工事予定。

質問 東武野田線沿いの拡幅計画は。

答 **道路部長**　借地契約後順次整備予定。

市有地を活用した公園緑地の整備
民主党　斉藤　誠

質問 海神1丁目の京成線付近の市有地が空き地状態。この地域は近くに公園がなく、災害時の避難場所が遠い。公園緑地としての整備を望むが見解は。

答 **都市整備部長**　所管部と協議中。

新京成線二和向台駅前整備
研政会　島田　たいぞう

質問 地元町会として、国家公務員二和宿舎の跡地利用と合わせて、駅前広場の整備、音楽ホール、児童ホームの設置、高齢者の福祉施設、出張所・駐車場の拡張、防災公園などを要望していた。本年度基本構想策定が予算化されているが現在の策定状況は。

答 **企画財政部長**　駅前ロータリー広場、出張所の狭隘解消、児童ホーム等の公共施設の配置について、本年12月末までの策定に向けて検討を進めている。宿舎の解体整備は29年度以降になる予定。

新たな土地活用が期待される二和向台駅前

高齢者の職場環境整備
日本共産党　関根　和子

質問 来年の夏までに全ての駐輪場の整理員ボックスにエアコンを設置すべき。

答 **都市整備部長**　リース方式の導入も可能との結果もあることから、直接設置する場合の費用と比較し設置を検討する。

高齢者が多く働く駐輪場整理員の職場環境向上を

教育・文化

スクールガードの個人表彰
新成　神田　廣栄

質問 長年スクールガードとして働く個人に、感謝の気持ちを伝えるべき。

答 **学校教育部長**　課題を整理し、表彰基準等の見直しを含め、方策を検討する。

教育の政治的中立と学校行事の議員招待

質問 学校行事に市議会議員を招待することについて、どう指導をしているか。

答 **学校教育部長**　学校の現状等をご覧

いただくよう各学校へ働きかけているが、招待者の決定は各校長の判断。

伝統文化・行事
市政会　藤代　清七郎

質問 船橋市には数多くの伝統文化・行事が継承されているが、その普及・継承・振興についての市の取り組みは。

答 **生涯学習部長**　普及については文化財説明板の設置や企画展示等を行い、継承の支援については、神楽公演等により認知度の拡大を図っている。振興については、28年度にかけて文化芸術振興基本方針を策定していく。

県指定無形民俗文化財に指定されている「下総三山の七年祭り」

青少年キャンプ場の活用
市政会　日色　健人

質問 青少年キャンプ場の予算額は。

答 **生涯学習部長**　年間2700万円。

質問 過去にも指摘したが、夏休み中でも平日はほとんど利用がない状況であり、改善されていない。自主事業を実施し、より多くの子供たちに自然体験の機会を設けるべきではないか。

答 **生涯学習部長**　来年度の夏休み期間中に、キャンプなどの野外活動体験を実施し、多くの子供たちが参加できるような事業が出来るか、ノウハウをもつ団体・事業者にあたっている。

質問 さざんかの家の稼働率は高く、予約の為に朝から並んでいるとも聞く。こうした舎営のニーズへの対応はどうか。

答 **生涯学習部長**　施設が整備できるかどうか、必要性等を踏まえ今後調査する。

青少年の健全育成
市政会　鈴木　ひろ子

質問 青少年のスマホ等利用の実態調査は。全国には子供を守るため行政がスマホ等利用を制限するところもある。本市にも青少年問題協議会があり専門部会発足や規定の作成、啓発等を行えないか。

答 **生涯学習部長**　小中学生全員に調査は行っていない。協議会に情報提供する。

前原地区の通学路
質問 前原地区の通学路の点検は。地元住民やスクールガード等の意見を集約し、市内全体の通学路の現状を総括的に把握するシステム構築が必要ではないか。

答 **学校教育部長**　平成24年の通学路緊急合同点検の際に関係機関と現地を歩き安全対策を実施。通学路交通安全プログラムに基づき定期的な点検もしている。

中学社会（歴史など）採択教科書
市民社会ネットワーク　朝倉　幹晴

質問 中学社会各分野の採択教科書は。

答 **学校教育部長**　歴史は教育出版、公民は日本文教出版、地理は東京書籍。

不登校から考える
公明党　橋本　和子

質問 本市の不登校対策は、教育センター・青少年センターでの相談や、「適応指導教室」「夢のふなっこ」があるが、これらの相談体制をとることで、復帰している児童生徒も大勢いる。しかし、新規に不登校になる児童生徒がいるために、不登校の数が減少しないのが現状。不登校を減らすには、現在行われている対症療法的支援だけで十分なのか。不登校にならないように、未然予防という観点に立った支援が必要。新たな不登校を生まないためには、どうしたらいいのか。休み始めた時に、アンテナを高くして対応することが必要と思うがいかがか。

答 **学校教育部長**　初期対応が必要。欠席した児童生徒に対し電話連絡をし、続いたときは家庭訪問をし状況確認をする。

オリンピック・パラリンピック
公明党　桜井　信明

質問 本市として小学校・中学校における、オリンピック・パラリンピックへの取り組みを伺う。

答 **学校教育部長**　教育委員会としては、各学校の教育活動を支援していきたいと考えている。

市民がスポーツを楽しむ環境
公明党　松橋　浩嗣

質問 障がいを持っている方が気軽にスポーツを楽しむ環境を整えるために市はどう取り組んでいくのか。

答 **生涯学習部長**　関係団体にニーズなどの意見を伺うとともに、他の自治体の事例も調査し、関係部署とも連携して、環境整備に取り組んでいく。

教育の政治的中立性や継続性の確保
日本共産党　関根　和子

質問 教育への関与を強める大綱策定で、中立性や継続性をどう確保するのか。

答 **市長**　教育における政治的な中立性はしっかりと確保しなければならない。

質問 国の通知では、教科書採択の方針や教職員の人事基準、全国学力テストの公表について、大綱に記載することも考えられるとしているが見解は。

答 **市長**　大綱の中で触れる考えはない。

学校教材の無償化
日本共産党　坂井　洋介

質問 安心して子育てできる環境を作り、教育に差を生み出さないよう、コンパスなどの学校教材は、原則として学校側で用意し無償とすべき。

答 **学校教育部長**　個人の所有物は、各家庭でご負担いただきたい。

小中学生議会見学会を開催しました

８月18日㈫、と19日㈬の２日間、議会の役割や仕組みを理解していただくことを目的に、小中学生議会見学会を開催しました。

議会の施設の見学や、議員に聞いてみたいことを直接質問する「お話会」などを行い、参加した皆さんからは「市議会に興味がわいた」、「普段は入れない場所に入れて楽しかった」、「議員とのお話会で色々なことを聞けてよかった」など、ご好評の声をいただきました。

(1) 市議会の仕組み、本会議・委員会の様子を紹介

プロジェクターを使用し、陳情審査の流れを例に市議会の仕組みを、実際の会議のVTRを交えつつ、学んでいただきました。

(2) 市議会施設見学

広報委員が議会内の各施設を案内しました。参加した皆さんは、議長室や委員会室などに興味津々。本会議場では、広さに驚く声があがったり、設置されている様々な設備の説明を一生懸命聞いていました。また、議員席に座る機会もあり、あちこちで記念撮影が行われていました。

(3) 議員とのお話会

見学会の最後は、議員と輪になってのお話会を行いました。はじめは、ちょっと緊張していた様子でしたが、しだいにリラックスし、楽しい時間を過ごしていました。

この見学会は、来年も開催を予定しています（夏休み期間中、日付は未定）
開催の概要が決まり次第、市議会だよりやウェブサイト等でご案内します。

◎第４回定例会は、11月16日(月)開会の予定です。

予定審議日程

月日（曜日）	開会予定時間	主な議事
11月16日㈪	午前10時	開会、会期の決定、議案等の提案説明、発議案の提案説明
11月25日㈬	午前10時	議案質疑・付託、発議案の質疑・付託
11月27日㈮、11月30日㈪～12月2日㈬	午前10時	一般質問
12月 3日㈭	午前10時	一般質問、請願陳情の付託
12月 7日㈪	未　定	総務委員会
12月 8日㈫	未　定	健康福祉委員会
12月 9日㈬	未　定	市民環境経済委員会
12月10日㈭	未　定	建設委員会
12月11日㈮	未　定	文教委員会
12月15日㈫	未　定	予算特別委員会
12月18日㈮	午前10時	付託事件の審査報告と採決、閉会

「市議会だより」に対するご意見・ご感想をお寄せください。

〒２７３－８５０１
船橋市湊町２－１０－２５　船橋市議会　広報委員会
電　話　047(436)3012　ＦＡＸ　047(436)3013
Ｅメール　gikai-chosa@city.funabashi.lg.jp

お　知　ら　せ

公職選挙法では、議員等が選挙区内にある者に対し、物やお金を贈ることは禁止されています。

有権者が求めることも禁止されています。

＜例＞
・町内会の集会、旅行などへの寸志や飲食物の差し入れ
・地域の運動会などへの飲食物の差し入れ
・お祭りへの寄付や差し入れ

Twitter（ツイッター）及び LINE（ライン）を活用した情報発信

本会議、委員会に関すること、市議会からのお知らせなどの情報発信をしております。下記コードを読み取り、アクセスすると情報を閲覧することができます。

Twitter
URL：https://twitter.com/funabashi_gikai

LINE@
LINEアプリで以下のIDを検索するか、右記コードを読み取り「友達登録」を行ってください。
LINE ID：@funabashi_gikai